



えが お

教育目標

進んで学ぶ子

思いやりのある子

笑顔はじける元気な子



真名子小HP

令和8年3月5日 発行

発行者 神宮司賢一郎

1年間のまとめと進級、進学に向けて

令和7年度も残りわずかな期間となりました。各学年とも学習面、生活面においてまとめの時期となり、また、進級、進学に向けての準備の時期として教育活動を行っています。そして、本校で一番大切な学校行事である卒業式が18日(水)に挙行予定となっています。

2月26日(木)、5年生を中心に話し合って企画、準備した「6年生を送る会」が行われました。1年生から5年生の感謝の気持ちがぎ



6年生を送る会

っしり詰まったプログラムで、6年生にとって思い出に残る会となったようです。また、会の進行は5年生が行い、状況を見ながらアナウンスするなど素晴らしい活躍で、上級生がリーダーとして学校行事等を運営するという真名子小学校のよき伝統が引き継がれた会になりました

6年生は、6年間生活した学び舎に感謝の気持ちを表すことを目的として、清掃を中心とした奉仕活動を行っています。また、下級生と合同給食を行う計画を立てています。卒業式では、6年生が立派な姿で「有終の美」を飾ってくれることを楽しみに、教職員と在校生一同、6年生との残りわずかな時間を大切にしたいと思っています。



6年前(上)と現在の6年生



第3回目 Let's 家読

今年度最後の「家読(うちどく)」が1月31日(土)から2月8日(日)の期間で実施されました。

「家読」は、子ども達が家族の方と一緒に選んだ本を読んで感想を話し合うなど、各家庭で決めた方法で取り組んでいただいています。子どもが家の人に読み聞かせたり、同じ本をそれぞれが読み感想を伝え合ったりと、それぞれの御家庭で方法が異なります。中には、「小さいころに読んだ絵本を、この機会に再び読んでみました。」と御報告いただく御家庭もあります。

ネット社会になった現在、読書の形態も変わってきています。形態は変わっても、自分の好きな時間、好きな場所で本の世界に飛び込み、想像を膨らませる機会は、いつまでも大切にしてほしいと考えます。

学校では、次年度も読書活動を充実させ子ども達の心を豊かにする教育活動を実践していきたいと思っておりますので、引き続き、御協力ください。



学習発表会、大変お世話になりました

2月13日(金)に実施した学習発表会では、多くの保護者の方に参観いただきました。大変ありがとうございました。



1年生の様子

それぞれの学年ごとに、学習で調べたことや音楽科で身に付けた楽器演奏等を発表するよい機会となりました。本年度は、「自分の考えを深め合う授業づくり ～考えを整理するための『書く』活動の工夫～」という学校課題を設定し、授業の中で積極的に取り組んできました。今回の学習発表会において、お子様の成長と共に学校課題の取組の成果を感じていただけた機会となっていたら幸いです。

また、参観の合間には、5、6年生の合奏を聴いていただきました。子ども達が力を合わせ練習してきた成果を披露することができました。

PTA 研修会 (真名子小 Cafe)

2月13日(金)の夕方、隣接する真名子支所の一部屋に、真名子小 Cafe が期日限定でオープンしました。これは、PTA 会長さんを中心とした総務役員さんの発案で、保護者の方と教職員の親睦を深めることを目的として開催していただきました。



勤務終了後に訪れてみると、玄関にはおしゃれな看板が設置され、PTA 総務役員さんがスタッフとなり、美味しいコーヒーや紅茶、お菓子を振舞ってくれました。会場内は、DJ さんがリクエスト音楽を流し、何とも言えない雰囲気を作ってくれました。

本校の PTA さんはアイデア豊富で、やるとなったらとことんこだわり、PTA 会員を楽しませてくれます。癒される素敵な時間と空間をありがとうございました。(詳しい様子は学校 HP でご覧いただけます。)

5年生食育授業

2月24日(火)、今年度最後の食育授業を5年生で実施しました。西方小の栄養士さんをお招きし、「魚を食べて元気に過ごそう」をめあてとして学習しました。



授業の様子

給食の食材となるような魚の名前あてでは、子供たちが黒板の周りに集まり、「サンマはどれかな？」などと相談しながら楽しそうに活動していました。その後、魚を摂取することはなぜ健康によいのか、血管や血液との関係を中心に学びました。



メニューに魚がある給食
(2月27日 鮭の味噌マヨネーズ焼き)

透明の筒を血管に見立て、魚を摂取している健康な血管と魚をあまり摂取せず老廃物が詰まった血管の模型を使った実験で、人体への影響と魚を摂取する大切さを学びました。

御家庭でも食と健康について話題にしてみてください。

2年生校外学習(真上地区の梅林)

3月3日(火)、2年生が真上地区へ校外学習に出かけました。今回は、「真上の梅」に関心を持ち地域のよさに気付くこと、生産者の工夫や思いを知り地域で働く人への理解を深めることをめあてとして見学に行きました。



この日は、あいにくの雨模様でしたが、作業の休憩小屋でお話を聞かせていただきました。真上地区では20年以上前に梅を植樹し生産してきたことや梅の花が咲いたときに喜びを感じる、剪定や消毒の作業が大変であることなどを教えていただきました。



今回の校外学習は、とちぎ地域未来アシストネットの地域コーディネーターの方が生産者さんと学校をつないでいただき実現した学習で、本校としては初めての試みでした。真名子地区の自然を生かした生産活動を学ぶことができる新たな機会となり、「ふるさと真名子」が感じられる素晴らしい学習機会となりました。次は、梅の実の収穫のころに見学させていただく予定です。その際は、今回学んだことをさらに深める学習の機会にしていきたいと考えています。



真名子小のアイドル「カカオ」



GSSG ソーラー・ジャパン 寄贈図書(一部)